

- 2,3面 【特集】第12回 造園技術フォーラム開催
4 総支部と学会から発表さまざまな技術を学ぶ
景勝 大洗海岸松林の保護・再生について／バラをテーマとした県営都市公園『花フェスタ記念公園』／街路樹更新とは？ 良好な都市景観の形成、そして安全な道路交通の確保のために／新山口駅南北自由通路「垂直の庭」／日本造園学会作品選集を読みこなす
- 4面 【ふるさと自慢】熊本県 米岡伸一郎（株東武園緑化）
すすむ復興！これからの熊本
【緑滴】東京都支部 矢部 真樹（東武緑地株）
私の趣味は・・・？

「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会 国土交通大臣表彰など会員が各賞を受賞



全国大会で挨拶する有路信（一社）日本公園緑地協会会長

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会は10月26日、東京都港区虎ノ門の日本消防会館で開催され、全国から多数の関係者が集まった。

全国大会は、第1部事例発表会として、都市公園コンクール、ランドスケープコンサルタンツ協会賞、一造会大賞の公園緑地関連三賞の最優秀賞の発表を実施。

午後からの第2部「全国大会」は、主催者の有路信（一社）日本公園緑地協会会長が「昨年、都市公園法等の改正が行われ、都市公園の再生・活性化、緑地広場の創出、都市農地の保全・活用に向けた制度が創設され、民間活力を活かし、みどり豊かで魅力的なまちづくりを推進することとしています。また、近年自然災害が増加する中、公園緑地等を活用した防災・減災についても期待が寄せられているところであり、新たな時代に向けた公園緑地が求められています」と挨拶。

来賓から田中英之国土交通大臣政務官が「都市のみどりは安らぎや潤いだけでなく、空気の浄化やヒートアイランド現象の緩和、さらに、災害の復旧・復興の拠点となるなど、人々の暮らしに欠かせないものとなっており、その役割にこれまで以上の期待が寄せられています」と祝辞。その後、各賞の表彰が行われた。

日造協からは、「平成30年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における都市緑化運動における都市緑化功労者国土交通大臣表彰」を多々良健司

氏（55）山口県山口市、川島昇氏（71）島根県松江市が受賞。「第34回都市公園等コンクール」では、国土交通大臣賞を「肥後細川庭園改修工事」（東京都文京区）で（株）日比谷アメニス、「オレンジパーク／地方創生に資する造園業（富山県中新川郡舟橋村）」で、日造協富山県支部ほか、国土交通省都市局長賞を「横浜公園日本庭園「彼我庭園」（神奈川県横浜市）で（株）港南植木ガーデンほか、「真正性と公園マネジメント - 肥後細川庭園 -」（東京都文京区）で西武造園（株）ほか、審査員会特別賞を「数寄屋橋公園のリノベーション」（東京都中央区）で（株）石勝エクステリアほか、「未病改善を目指すヘルスケアパーク」（神奈川県小田原市）でおだわら諏訪の原公園パートナーズ（西武造園（株）ほか）が受賞した。

会場ではその後、「まちを変える公園」をテーマに、（一社）エリア・イノベーション・アライアンス代表理事の木下斉氏が講演。都市公園等コンクール、緑の都市賞受賞者からの発表が行われた。



都市緑化功労賞受賞の多々良氏を囲み記念撮影

都市緑化キャンペーン2018

日比谷公園の特設ステージで都市緑化をPR

「都市緑化キャンペーン2018」が10月21日、東京都千代田区の日比谷公園特設ステージで行われた。

今年のキャンペーンは、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、日造協をはじめ、緑化関連の17団体で構成される都市緑化推進運動協力会の主催、国土交通省、東京都、千代田区、全国知事会・市長会・町村会の後援で開催。

当日は、来春開催の第36回全国都市緑化信州フェアのPR、花と緑の楽しみ方教室「今日からできる寄せ植えプランターの作り方」の紹介の後、有路信都市



緑化推進運動協力会長、古澤達也国土交通省都市局公園緑地・景観課長、日本さくらの女王、さくらプリンセスが来場者に花鉢を配布した。

樹林

（一社）日本造園建設業協会理事
（株）柳島寿々喜園 代表取締役 鈴木 義人

東京2020オリパラ 酷暑での木陰の確保に向けて

東京2020オリンピック・パラリンピックは、7月24日の開会式から9月6日まで、真夏の強い日差しの中での開催が予定されています。

こうした中、東京都は、東京2020大会の関連道路（マラソンコース、アクセスルート等、全29路線）の暑さ対策として、街路樹の樹冠を拡大し、より多くの木陰を確保して、競技者をはじめ、歩行者や観覧者の安全性や快適性を作り出す計画を進めています。

日造協東京都支部は、美しい街路樹を造るため、都の街路樹施策に協力し、剪定業務受託者や路線管理担当者を対象に「街路樹剪定講習会」を開催するなど、技術向上と街路樹剪定士の認知度向上や普及に努めてきました。

街路樹の樹冠を拡大にあたっては、強風、自然災害などにより倒木する可能性も増大するので、計画的な剪定を行っていく必要があります。

こうしたことから、平成28年度10路線、平成29年度19路線の計29路線の樹冠拡大実施にあたって、都から支部に次のような協力要請がありました。

- ①関連する者が認識を共有するための基礎資料となる路線毎の「街路樹維持管理計画書」の作成
- ②計画の目的に添うべき作業を実施するため、街路樹剪定士指導員による「見本剪定」及び「剪定講習会」を行い、具体的な剪定方法を指導
- ③講習会の効果を検証するために施工箇所を「巡回」して、剪定状況を調査報告

都と支部の協議の結果、「街路樹剪定士指導員」が巡回し、剪定方法を指導することとしましたが、受託業者への直接指導はできないため、東京都側に状況を報告する方法を採用しました。

また、平成29年度からは、主任技

術者に「街路樹剪定士指導員」の資格を有するものが現場に常駐することとしました。

この街路樹の樹冠拡大業務を担当した街路樹剪定士指導員の吉村知泰氏は、「作業者の多くは、『日本の街路樹剪定の大半の技術は、庭園樹や盆栽で行われている伝統的な剪定手法で培った技術で維持されている』と教わり、自然樹形をモデルとして樹体全体をコンパクトにまとめ上げるような矯正型自然樹形を目標に剪定を行ってきました。今回の樹冠拡大は、いつもの剪定と正反対の要求で、街路樹剪定士も相当戸惑ったのではないかと、指導した感想について話し、「今回の目標樹形設定においては、都と支部で協議し、2020年の理想の街路樹樹形を決定しました。見本剪定の効果検証として、歩道を歩いていると、大きな緑陰が現れ、街路樹の樹冠拡大による暑さ対策に大きな役割を果たしていると思います。また、特に街路樹剪定士が樹高・枝張に細心の注意を払いながら剪定した結果、非常に美しい街路景観に仕上がっていると感じます。街路樹は一本一本が綺麗に仕上がっても、全体としての連続性と統一性がとれていなければ美しい街路景観にならないと思っています」と、指導とその後の感想を述べています。

美しく機能的な街路樹を街路樹剪定士の普及啓発活動を通じて実現し、東京2020オリパラの成功はもとより、全国の剪定士と街路樹への広がりを祈念いたします。



見本剪定実施前④と実施後④

秋の叙勲・褒章 3氏受章

2018秋の叙勲・褒章受章者が発表され、日造協関係では、3氏が受章の榮に輝いた。

【旭日小綬章】藤巻司郎（74）藤造園建設（株）代表取締役社長（横浜市）



藤巻司郎氏



中川茂氏



廣部悟志氏

【旭日双光章】中川茂（70）（株）吉村植木園代表取締役（石川県白山市）

【黄綬褒章】廣部悟志氏（61）（株）南香園代表取締役（札幌市）

2019 新年造園人の集い 2019年1月7日（月）17:50より
品川プリンスホテル アネックスタワー5階「プリンスホール」（東京都港区高輪4-10-30 ☎03-3440-1111）
皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう！

第12回造園技術フォーラムは10月3日、山口県山口市のニューメディアプラザ山口で開催しました。本号では発表の概要を紹介します。※日造協会員の方は、会員専用サイトの「グループウェア」「ファイル共有」「08-造園技術フォーラム」で当日の資料をご覧いただけます。

全国都市緑化フェアの開催地で実施している日造協の造園技術フォーラムは、山口フェアの開催に合わせ、10月3日（水）、山口市のニューメディアプラザで開催しました。

造園技術フォーラムは、和田新也日造協会長のあいさつに次いで、関東・甲信、中部、関西、中国と4総支部からの発表と、（公社）日本造園学会と日造協の包括協定の一環として、造園学会から、造園作品選集についての発表を篠沢健太作品選集委員長、全体の講評を柳井重人総務委員長よりいただきました。

途中、各発表に対する質疑応答も行われ、会員の技術の共有における貴重な機会となりました。

閉会にあたっては、伊藤幸男技術委員



和田会長



伊藤技術委員長



正本中国総支部長 乾杯

のご発声をいただき、交流の場となり、今後の開催地の紹介も行われ、多々良健司山口県支部長が閉会の言葉を述べ、散会しました。多々良山口県支部長



を述べ、散会しました。多々良山口県支部長

長があいさつ。造園技術のさらなる充実と活用への期待を述べました。

フォーラム後は、中国総支部主催の交流会をプラザホテル寿で開催しました。

冒頭、主催者を代表して、正本大中国総支部長があいさつ。フォーラムで講評していただいた柳井先生に

第12回 造園技術

4 総支部と学会から発表

バラをテーマとした県営都市公園『花フェスタ記念公園』

中部総支部 岐阜県 上田 善弘（イビデングリーンテック(株)）



上田 善弘氏

私は、造園というより花卉園芸、バラ専門ですが、今回は指定管理を行う花フェスタ記念公園の取り組みをご紹介します。

公園の場所は、愛知県に近く可児市にあります。県内にはたくさん公園がありますが、大きな公園が4つあり、そのうちのひとつで、来園者の44%が県内、43%が愛知県からです。公園を取り巻く状況は、2015年の新東名高速道路をはじめ、東海環状自動車道路などの相次ぐ開通、2027年開業予定のリニア中央新幹線など、広域交通網の整備が飛躍的に進展しています。

花フェスタ記念公園は、大阪の花の万博から5年後の1995年に万博と花の都ぎふ運動の5周年を記念して開催した花フェスタの翌年に再整備を行い、岐阜県はバラ苗の生産が日本一であることから、園内にバラ園を整備。1,511種、41,000株のバラを植栽しました。

花の都ぎふ運動は、これからの時代に向けた県政の柱として、人間と植物の共生が掲げられ、この推進運動の柱です。

こうしたことから、ただバラを植えるだけではなく、ハードとソフトの両方が大切との観点で、1998年にぎふ国際ローズコンテストを開催し、その当初から審査委員長を務めさせていただき、現在も続いています。

バラ園は、2003年には世界バラ会連合の優秀ガーデン賞を受賞。開園から10年後の花フェスタ2005の時に、テーマガーデンを公開し、当時世界一の



1995年に整備した世界のバラ園



2005年に整備したバラのテーマガーデン

7,000種、61,000株になり、世界育種家フォーラムも実施、環太平洋バラ友好協定も締結しました。

敷地面積80.7haの公園は、2011年に指定管理がはじまり、現在、バラ園は9.2haで7,000種類、管理しやすいため、3万株に抑制し、今年からバラ園の再整備を行います。

年間の来園者数は、花フェスタを開催した2005年が160万人近くに上りましたが、指定管理開始年が約30万人で、昨年は約40万人。どうしても春のバラの開花時期に集中するので、早春のウメやスイセン、ネモフィラ、夏のヒマワリ、秋のバラまつりなどに取り組み、今後さらに公園への交通が充実するので、より多くの方々に楽しんでいただける公園にしていきたいと思います。

街路樹更新とは？良好な都市景観の形成、そして安全な道路交通の確保のために

近畿総支部 大阪府 坂上 信明（株昭和造園土木）



坂上 信明氏

大阪市では今年、3カ年計画で街路樹の更新を行うことを決め、2018年は7億5,000万円の予算を計上し、約5,000本の街路樹を

更新します。現在もその作業の最中なので担当者が現場を離れられず、私からご紹介します。

まず、現状の街路樹の問題点ですが、大木化、古木化し、①腐朽による倒木の可能性、②信号や標識が見えにくくなる

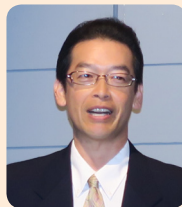
などの車道の安全、③根上りによる起伏など歩道の安全性、④台風などの強風による倒木の危険、⑤ガス、水道など、地下埋設物への影響があります。

こうしたことから、更新樹木について、街路樹を取り巻く環境条件と樹木の状態について、事前調査を行います。

更新の対象となるのは、①信号・標識等に影響のある視距障害樹木、②腐朽・病害・枯損木などの危険木、③植樹樹からの露出、防止柵等への食い込む等している大径木、④根上り、根絡みの舗装、

景勝 大洗海岸松林の保護・再生について

関東・甲信総支部 茨城県 中山 秀一（株水庭農園）



中山 秀一氏

この景観をつくり出しているのが、全長3kmの松林で、日本白砂青松100選、森林浴100選、渚100選にも選ばれています。

その歴史は約400年前に遡り、水戸藩主が代々植栽、松の育成を行い、魚付林、防風・砂防、さらに松カサ・松葉が燃料とされ、暮らしに欠かせない松林でしたが、戦中戦後に荒廃し、公園となった当初、約12ha、3万本のマツが生育していたとされています。

昭和46年頃からマツノザイセンチュウなどによって、周辺の松林が徐々に減少、壊滅する中、公園のマツは防除などの管理で、その被害が抑えられていました。しかし、管理費削減による被害木の伐採・搬出、下草刈りなどが減少し、林床が荒廃し、広葉樹が侵入するなど、松枯れ被害が拡大し、平成20年度で残存しているマツが21,022本、3分の1近

くのマツが被害を受けていたことが分かりました。

こうしたことから、平成21年度から指定管理者となった地元造園業協同組合とともにその対応に当たりましたが、さらなる対応が必要であり、平成26年に景観の保全と被害防止対策を県に要望し、2年にわたる大規模な伐採工事を行い、現時点で松枯は残置されていません。

対策として、①羅病したマツの幹内のマツノダラカミキリの幼虫やサナギを排除するための伐採・搬出処分、②6,7月の羽化したマツノダラカミキリの成虫を駆除するための殺虫剤散布、③予防措置のための樹幹注入、④マツの生育に適した林床とするための松林の手入れ、⑤病害虫への抵抗性を高める育成を行うための植栽密度や日照、土壌などの環境調査を実施しました。

殺虫剤散布では、空中散布におけるマイクロカプセル剤の使用で周辺への影響を考慮、樹幹注入は高価ですが、実施425本中、421本が残存し、高い効果が確認できました。

こうした結果、被害は微小となり、感染予防に重点をおいた管理を効果的に行うとともに、一般の方々に松林への関心を持ってもらうため、マツを増やす植樹イベントやカミキリの天敵となる鳥類誘致にもつながる巣箱づくり・設置イベントなどを実施しています。

今回の事例は、多様な方々との連携、継続的な取り組みによる被害の拡散防除の成果であり、今後、一般参加のイベントをより多く開催するなど、保全活動の展開を図っていききたい。



多くの家族連れが参加しての植樹イベント

建設業界の皆様へ

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は
一日 310円
(加入労働者ひとり)

従業員が安心が事業主の信頼に

国が作った退職金制度です。

建設業の現場で働く労働者のための退職金制度です。

国が作った退職金制度 制度説明動画 配信中

建設業界の皆様へ

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は
一日 310円
(加入労働者ひとり)

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための建設業の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

◎法律に基づき運営される国が作った制度
◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
◎国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

特長

◎掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
◎加入の手続きは簡単
(各都道府県の建退共支部で加入)

こんなに有利！

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
10年	78万円	94万円
15年	117万円	157万円
20年	156万円	225万円
25年	195万円	302万円
30年	234万円	390万円
35年	273万円	489万円
40年	312万円	603万円

※退職金額は、1年につき、310円(1日)×21日(1ヶ月)×12月(1年)の掛金を納めたときの金額です。
※1万円未満は、切捨てています。



〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)

TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895

建退共のホームページを
ぜひ、ごらん下さい

建退共

検索

フォーラム開催

さまざまな技術を学ぶ

新山口駅南北自由通路「垂直の庭」

中国総支部 山口県 杉澤 悠紀子 (株)多々良造園)
岡部 達矢 (新山口駅南北自由通路垂直庭園実行委員会会長)



杉澤悠紀子氏と岡部達矢氏

JR 新山口駅は、交通の拠点として利用されてきましたが、寛げる場所がなく、線路で南北が分断されていました。

2011 年に駅を中心とした山口市のターミナルパーク整備事業が始まり、その中核に南北自由通路が計画されました。

緑が少ない駅周辺やまちへの広がり、賑わいの創出を図り、これを将来につなげていけるものとして、垂直庭園のパイオニアで、世界で活躍する植物学者のパトリック・ブラン氏にたどり着きました。

しかし、135 品種、17,000 株の植物を育成し、その後のメンテナンスを行うためには、生産と施工の連携が必要でした。2013 年に実行委員会を立ち上げ、



垂直庭園の施工④、完成した垂直庭園⑤



自生する植物の調査と育苗の様子

ブラン氏とともに山口に自生する植物の調査・採取を開始。2 年間に渡って採取した植物を育てました。

そして、壁面にフレームを組み、ブラン氏が考案した特製合成フェルトを設置。プラン図に基づき、植え込みました。

完成から 3 年が経過し、今年は暑さで衰弱も見られましたが、大きな問題は発生しておらず、自生種の多様性で病害虫が広がりにくいと考えられます。しかし、山での生育と異なるものもあり、違う時期に開花する植物もあります。灌水も根の張り具合からか流れにくくなっている部分もあり、改修時期を迎えています。

また、垂直庭園を中心とした地域への広がりが今後の課題であり、山口市と私たちの委員会、市民サポーターを含む新山口駅駅前広場活動実行委員会と連携し、マルシェやガーデンツアー、インストラクター養成講座などを行い、今回育成した植物のオリジナル山野草としての展開も検討しています。再びこの地に来て、進展をご覧いただければと思います。



定期メンテナンス⑥、イベントの様子⑦



腐朽や根上りなど、現状の街路樹の問題

歩車道縁石等に影響のある樹木、⑤大阪ガスや水道局への問い合わせを含めた地下埋設物の経路に影響のある樹木で、このほか、⑥ゴミ箱、物置など、"住民の勝手植え・勝手置き"等の問題のある植樹、⑦消火栓等、植樹周辺の構造物によっては、協議を行うなどして、以上を報告書にまとめて、市に提出します。

市は、報告書に基づいて、保全（治療・移植・同種更新）か、再整備（同種更新、異種更新、撤去）を決定します。

そして、実際の作業の手順です。

①施工の周知文書、お知らせを施工日の 2、3 週間前に樹木一本一本すべてに貼り、②高所作業車にて樹木上部を伐採、③仮復旧に使用できるように丁寧に縁石ブロック等を撤去、④周囲の根を切りながら掘り取り、根株撤去、⑤植樹樹内山土埋戻しは、当日中に行い、路面の凸凹をなくします。⑥本復旧までの間、歩行者の安全を考え、植樹樹仮復旧、⑦本復



樹木上部の伐採⑧、根株撤去⑨

旧のために舗装を切断、撤去し、⑧植樹の本復旧を行い、撤去の場合は植樹樹を閉鎖します。

道路に関する施工で、コンクリートは生コンを使用しなければならず、少なくとも 1 m³位はないと運んでもらえないので、26、27 カ所の植樹をまとめて作業しないと、それに見合いません。

また、ブロックの撤去も再利用するため手作業で、手間の掛かる業務であり、まだ、完成していない事例で、皆さんにお見せできないのが残念です。

最後に個人の意見ですが、近年、落ち葉で嫌われがちですが、夏に緑陰、冬に木漏れ日をもたらす落葉樹も街路樹として、いいのではないかと考えています。



植樹樹仮復旧⑩、植樹樹本復旧⑪

【学会発表】日本造園学会作品選集を読みこなす

(公社)日本造園学会 篠沢 健太 (工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授)



篠沢健太氏

日本造園学会は、定期刊行物のほか、技術報告集と作品選集を隔年、交互に発行しており、技術フォーラムも、それぞれの担当が交互に発表しています。

皆さんに配られた作品選集 2018 は、2012 年からカテゴリーに分けて編集しています。応募時にカテゴリーはなく、集まった作品を分類しています。

また、作品選集委員会と作品選集刊行委員会があり、刊行委員会が審査したものを編集委員会で議論する構成です。

応募は、部門別で行われ、「空間設計部門」は通常の設計で、「計画・企画部門」は、設計が別でも出来上がったものに、計画・企画で応募者が行ったことがきちんと入っているかを確認します。

「エイジング・マネジメント部門」は、竣工後、5 年～10 年以上経過した企画・計画・設計作品のエイジングと、維持管理や運営のマネジメントに関する作品で、造園施工、管理・運営をされている皆さんに一番近い部門であり、垂直庭園のメンテナンス、大阪の街路樹の管理・景観づくり、県民連携など、大洗海岸、花フェスタ記念公園も応募できます。

今回の作品集は 62 作品を収録し、空間設計 51、設計・企画 5、エイジング・マネジメント 6 作品です。このうち、エイジング・マネジメント部門の作品をカテゴリーでみると、①運営・コミュニティ 2、②都市環境 2、③エコロジー、④オフィス・商業空間、⑤庭園はともに

ゼロ、⑥キャンパス 1、⑦生活 1 です。

実際に収録作品をみてみましょう。「天王寺公園エントランスエリア”てんしば”」は、「来園者が多く、芝生が裸地化していることが悔やまれる」など、現場を見た刊行委員会のコメントも掲載され、課題もあります。"てんしば"の考え方は、学会として評価すべきものであるとして、掲載しています。

(以下作品紹介省略)

この中で、「品川セントラルガーデン」は、14 年前の完成時にも掲載。今回、エイジング・マネジメント部門での再応募で、応募者が管理に関わることで、何が変わったかが書かれています。

日造協の方々は、技術、作品の両方に応募できる現場と技術を持ち、フェアのような一時的な庭の応募も可能です。

編集委員の選集への想いを巻頭に収録し、委員の和田会長も、メンテ部門の応募が少ないことなどに触れています。

造園作品は、設計、施工と管理が切り離せず、管理を含めたよりマネジメントがより重要になり、他分野との競合の中で造園技術の専門性をアピールする必要があります。

技術報告集はモノクロで科学性、作品選集はカラーで社会性が求められ、何を指し、自分たちが関わったことで、どうなったかをビジュアルに表現することが欠かせません。このため、プレゼンテーションに工夫が必要になりますが、現場からの作品に期待が寄せられています。

審査する私たちや社会に訴える作品をぜひご応募いただければと思います。

【講評】

(公社)日本造園学会 総務委員長 柳井 重人 (千葉大学大学院 園芸学研究科 准教授)



柳井重人氏

造園学会は、学術を対象にしていますが、専門的な研究だけでなく、原理や応用、技術や芸術を含めたものを学術と捉えています。

学術的な裏付けのある技術、技術を基盤に芸術的な空間を創造するなど、学術・技術・芸術が三位一体なのが、造園の面白さでもあります。

今回の講評にあたり、何らかのモノサシが必要だと考えました。

1 つ目は、着眼点・独自性・新規性で新しく生み出されたものか、オリジナリティがあるのか、新しい価値やニーズが発生しているかです。

2 つ目は、技術と継続性という観点で、造園は植物などを扱い、すぐに出来上がらず、簡単に修正できないので、継続できる体制、安定性が不可欠です。

3 つ目は効率性です。提案された技術によって、施工や運営・管理など、効率がよくなり、目的や期待される成果を上げているかという観点です。

4 つ目は、エンドユーザーや地域に貢献できているか、地域貢献を意識した取り組みになっているかです。

5 つ目は、波及効果があるかで、その取り組みの地域への広がり、さらには他の都市などでも活用できるかどうかです。

この 5 つの点を踏まえて、発表を聞かせていただきました。

大洗海岸のマツは、継続性がポイント

で、困難な松枯れ対策において、成果をきちんと残され、市民参加の植樹活動など、将来に繋がる活動も期待が持てます。

花フェスタ記念公園は、バラを中心とした都市公園の魅力づくりという独自性がポイントですが、50 歳以上が 80%という来場者、バラ開花期の利用集中対策が公園運営、経営という点で大事です。

世界的なバラ園で、継続させる技術を将来にどう繋げていくかも課題です。他都市にどう活かせるかでは、世界バラサミットなども開催され、国内だけでなく、世界の参考になるものだと思います。

街路樹の更新は、新規性や独自性ではなく、一般性や普遍性で、全国的な問題です。利用者への貢献も、そもそも街路樹の効果を発揮させることが大事であり、街路樹を適切に生育させるという原点に戻っていきます。利用者に快適な街路樹も目の前の方たちには迷惑だったり、多様な利害関係者の調整、管理者の決定に、どう関われるかがポイントです。

垂直庭園は、通路計画で壁面緑化を想起し、ブラン氏と協働にいたったことがまず驚きですが、実行委員会自体の安定性やサポーターの養成、モニタリングなど、今後に興味があります。

技術は世の中に発信することで、検証され、磨かれ、価値を高めることが出来るので、いろいろな場面で発信して欲しい。来年は、茨城県つくば市で造園学会の全国大会が開催されます。多くの方々の参加を期待しています。

熊本県
ふるさと自慢

すすむ復興！
これからの熊本



2019年、2021年開業の「桜町開発ビル」と新「熊本駅」のイメージ

震災から2年が経過し、街の様子もだいぶ様変わりしてきました。

そこで復興が着実に進んでいる再開発の状況と、熊本県民に親しまれている江津湖を今回ご紹介したいと思います。



まず再開発の中心となる2つの施設について、1つ目は来年夏に開業予定の桜町開発ビルです。

「熊本城と庭続き『熊本城の大広間』」をコンセプトとし、商店街と目と鼻の先で、熊本城とも文字通り庭続き。バスター

ミナルができるのでアクセスも良くなりさらに活気づくことでしょう。

2つ目は熊本駅の建て替えです。3年後の春開業予定で、コンセプトは「水と緑の空中庭園」。九州では博多駅に次ぐ規模で、結婚式場や映画館他に商業施設が入ります。



新たな駅等の完成後、2022年を目指し全国都市緑化フェアの開催が計画されています。会場となるのが再開発エリアや熊本が誇る水前寺成趣園から南に広がる江津湖です。ここは平成の名水百選に選ばれ街中にありながら透明度の高い水質を持ちます。



また、この江津湖に隣接する熊本市動植物園は、震災で大きな被害を受け現在も復旧工事が進められています。きれいな水とたくさんの緑に囲まれ都市の中のオアシスのような存在です。

このような自然が身近にありながら、さらに発展をとげようとする熊本を、全国の皆様楽しんでいただけるよう地震からの復興支援への感謝の気持ちと共にお伝えしていきたいと思います。

米岡伸一郎（株東武園緑化）

復旧工事が進められている熊本城④

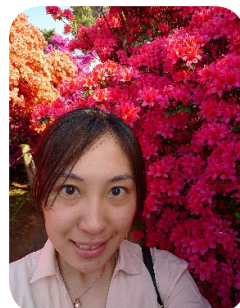
熊本が誇る水前寺成趣園から南に広がり、平成の名水百選にも選ばれるなど、街中にありながら透明度が高い江津湖⑦



私の趣味は？？

- 毎月みなさんの「緑滴」を拝見すると、仕事とプライベートを両立させ、充実しているなど感じていました。
- 原稿依頼をいただき、いざ自分のことを書くとなると、これ！という趣味が思い浮かばない。人に「趣味は？」と聞かれても、あれもこれも好きだし、けれどそんなに頻繁にやっている訳ではないから趣味と言えるのだろうか、と迷ってしまう始末。
- ◆
- そこで、色々考えて思い当たったのは、日々の気分転換が趣味になっているのではないかということです。
- まずは、公園・庭園散策、美術館巡り、読書、音楽を聴くこと。
- 公園散策では広い芝生の上で人目を忍んでゴロンと寝転がるのが好きで（結構恥ずかしい・・・）、季節の花やきれいな景色を求めて日帰りできる場所へ出かけたりもしています。
- また、美術館は気になるテーマを見つけると見に行く程度ですが、この夏、知人に教えてもらった企画展「水を描く」はとても

東京支部
矢野真樹
東武緑地（株）



らった企画展「水を描く」はとても



きれいな景色を求めて



人目を忍び、芝生にゴロン



アートフラワーでブーケ作りに挑戦

印象に残っています。

なお、半年ほど前には、母の勧めでアートフラワーに触れる機会があり、いざ作り始めてみるととても面白く、これはハマってしまいそうです。

さらに、最近ではマラソンを始めてみようとも思っています。持久力には自信のあった学生時代の体力を過信しないよう、徐々に距離を伸ばしていきたい、いずれは大会にも出てみたいと思っています。



結局、趣味を絞り切れていない私ですが、これからは「趣味はマラソン！」といえるように頑張張りながら、今まで通り気ままに楽しんでいきたいと思っています。

【お詫びと訂正】日造協ニュース10月（第535号）1面記事「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、受賞者において、谷本清氏・石豊造園土木（滋賀県）は、（京都府）の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ついで検討した。

●植栽基盤診断士認定委員会

◎10/9 植栽基盤診断士認定（学科試験）の合格判定及び実技試験の実施について、審議を行った。

編集後記 初めは皆素人である、人と人との関わりの中情報によって触発され目覚めたときから始まる、日造協ニュースの使命はそこにある！！

日造協 新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
おおさわぞうえんどぼく (株)大澤造園土木 大澤義美 東京都中野区上高田 1-1-1 ☎ 03-3368-0544 FAX 03-3368-0422	
きくちりよくはん (株)菊地緑販 菊地茂夫 茨城県筑西市関本中 347 ☎ 0296-37-2986 FAX 0296-37-7308	
たなかていじゆえん (有)田中庭樹園 田中一則 佐賀県佐賀市金立町金立 1197-388 ☎ 0952-98-3114 FAX 0952-98-1128	
ぞうえんどぼく (有)かわさき造園土木 川崎正則 佐賀県杵島郡白石町大字横手 1244 ☎ 0952-84-4468 FAX 0952-84-6871	

事務局の動き

- 【10月】
- 1月・広報活動部会
 - 3月・平成30年度全国都市緑化祭
 - 造園技術フォーラム
 - 4月・運営会議
 - 総支部長・支部長 合同会議
 - 花と緑のつどい
 - 5月・全国都市緑化やまぐちフェア会場視察
 - 9月・植栽基盤診断士認定委員会
 - 17月・技術委員会
 - 中旬・技能グランプリ 競技委員会
 - 24月・造園工事の高所作業標準マニュアル検討会
 - 26月・運営会議
 - ひろげよう 育てよう みどりの都市 全国大会
 - 29月・全国造園デザインコンクール推進部会

- 【11月】
- 1月・東北総支部・支部交流会
 - 担い手3法と人材育成確保、働き方改革等説明会
 - 2月・技能五輪全国大会開会式（3,4 競技、5 閉会式）
 - 4月・第35回全国都市緑化やまぐちフェア閉会式
 - 6月・北海道総支部・支部交流会
 - 広報活動部会
 - 7月・北海道総支部と開発局等との意見交換会
 - 9月・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～10
 - 12月・URとの技術意見交換会

- 13月・都市公園緑地等整備促進議員連盟合同会議
- 14月・植栽基盤診断士認定試験（実技試験）～15
- 15月・建専連（建設部長との意見交換会）
- 建専連（全国大会）
- 20月・北陸総支部と北陸地方整備局との意見交換
- 北陸総支部・支部交流会
- 植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 21月・厚生労働大臣表彰式（職業能力開発関係）
- 登録造園基幹技能者講習（福岡会場）～22
- 22月・技術委員会（安全部会）
- 造園工事の高所作業標準マニュアル検討会
- 25月・高校安全テキスト編集・審査合同会議
- 28月・近畿総支部と近畿地方整備局との意見交換
- 近畿総支部・支部交流会
- 植栽基盤診断士認定委員会
- 29月・中部総支部・支部交流会

委員会等の活動

- 経営環境改善部会
- ◎10/4 建設分野における外国人受入れに関する検討会議に大嶋部会長が出席。
- 技術委員会
- ◎10/17 平成30年度、各部会の事業計画について検討した。
- 安全部会
- ◎10/24 造園工事の高所作業標準マニュアルに



簡単に図面を描いてみませんか！

O7CAD15

エクステリア造園 CAD オーセブン・キャド ver1.5



O7CAD は「選んで置く」だけのスタンプ作図から、断面施工図・概算見積りの連動作図まで、設計から営業までトータル提案できる新しいプレゼンCADです。

特設サイトを
ご覧ください

オーセブン株式会社

<https://www.o-seven.co.jp/>

本社：〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西 6-4-14
支社：〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4-1-45 新大阪八千代ビル 3F

Tel. 048-840-1577 Fax. 048-840-1579

オーセブン キャド 検索